

目立つ追突事故

秋の交通安全運動 ふりかえって

一日に七件の事故 負傷者が激増・国道が大半しめる

吉原、富士両警察署の調べによると、十月一日から十月三十一日まで市内に発生した交通事故は千九百九十三件で、死者四十一人、負傷者千四百四十一人となつています。これは昨年同月にくらべると死者は一人減つていますが、負傷者は七十七件、負傷者は二百七十三人多くなつており、最近の全国的な傾向である「負傷者の増加」を裏証しています。原因別では、車間距離不保持が二百八十三件で最も多く、右左折違反百八十三件、徐行違反百五十九件、優先通行違反百五十四件、ハンドルの操作不適当百三十四件の順となつています。事故発生場所では国道一号線が約四十四パーセント



ちかくしめ、大月線が約十五パーセント、その他が県道、市道となつています。国道一号線では依田橋交差点で五十二件もの事故が発生し、大昭和裏十字路でも三十六件の事故が発生しており、魔の交差点とも呼ばれています。悲惨な事故を防ぐため児童や幼児が道を歩いているときや、道路を横断しているときは一時停止または徐行する。タバコに火をつけたら

急に止まれ

秋の交通安全運動もあと一日で終るといふ、十月三十日の午後五時三十分ごろ第二中学校前の市道でバイクを運転して西進中の十九歳の少年が、反対方向から走ってきた三輪車に衝突され「頭部外傷右腕開放骨折など、全治六カ月の重傷」を負つた。加害車両はそのまま東へ逃げてしまつた。悪質なひき逃げ事件である。逃げた車両はまもなく逮捕されたが、事故原因は三輪車の運転者が酒を飲んでいたりえわき見運転をしたものとみられている。どうしてこんな事故が起こるのか。私があえてこの事故を取りあげたのは、毎年、秋の二回にわたつて全国的に展開される交通安全運動が一部関係者だけのお祭り騒ぎに終つてしまひ、市民全体に運動の主旨がゆきわたつていないことを強く感じたからである。「すべての歩行者、運転者に交通安全思想を普及、徹底させるか」というのがわれわれに課せられた大きな責任である、事故のたびに認識を新たにさせられる。そして「すべての歩行者、運転者が交通安全思想をしつかり身につけて、われわれの生活から交通事故を遠放してほしい」と切望するものである。(吉原警察署 交通課長)

運転者

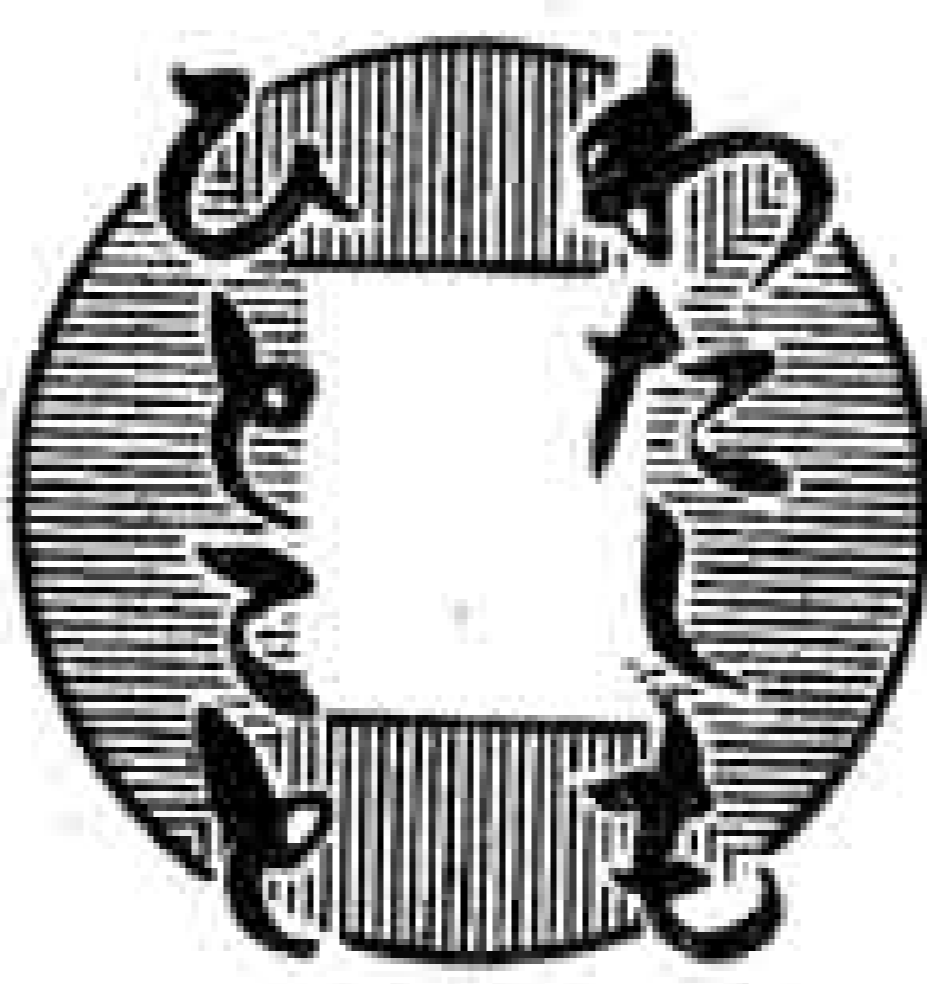
ハンドル握つたら一時停止と確認を

小林 勉(水道業)

交通事故...。車に乗るものにとつて何んて嫌なことだろう。私にはだれも事故をおこさうと思つて車に乗つてゐるものはない。しかし、現実には事故をおこしている。事故をおこさないためには、運転者、歩行者はもろもろ市、県、国が交通安全施設の整備を進めることが大切ではないかと思ふ。運転者は一時停止、安全確認をする。歩行者は道路の横断、歩道のない道での正しい歩行など交通ルールをしつかり身につける。行政当局は交通標識、街路灯、横断歩道橋などの安全施設を整備する。それから、市当局にお願いしたいことがある。子どもの遊び場をつくらせてほしいということだ。子どもが道路で遊んでいれば、われわれ運転者ももちろん気を付けるが、子どもはつぎにどんな行動をとるか分からない。子どもが車に注意しないので、のびのびと遊べる場所をたくさんつくつてほしいと思ふ。(依田原一)

徹底したい交通安全思想

手老保(吉原警察署 交通課長)



急に止まれ

秋の交通安全運動もあと一日で終るといふ、十月三十日の午後五時三十分ごろ第二中学校前の市道でバイクを運転して西進中の十九歳の少年が、反対方向から走ってきた三輪車に衝突され「頭部外傷右腕開放骨折など、全治六カ月の重傷」を負つた。加害車両はそのまま東へ逃げてしまつた。悪質なひき逃げ事件である。逃げた車両はまもなく逮捕されたが、事故原因は三輪車の運転者が酒を飲んでいたりえわき見運転をしたものとみられている。どうしてこんな事故が起こるのか。私があえてこの事故を取りあげたのは、毎年、秋の二回にわたつて全国的に展開される交通安全運動が一部関係者だけのお祭り騒ぎに終つてしまひ、市民全体に運動の主旨がゆきわたつていないことを強く感じたからである。「すべての歩行者、運転者に交通安全思想を普及、徹底させるか」というのがわれわれに課せられた大きな責任である、事故のたびに認識を新たにさせられる。そして「すべての歩行者、運転者が交通安全思想をしつかり身につけて、われわれの生活から交通事故を遠放してほしい」と切望するものである。(吉原警察署 交通課長)

歩行者

あの日...5分遅く家を出ていたら

高田啓子(高校生)

病院での診察は全治二カ月のムチ打ち症。私たちが学生にとつてなんて悲しい言葉だつたでしょう。運動ができない、通学にもさしつかえる...。あの日、あと五分遅く家を出ていたら、運転者の人が左右の確認をするというチヨットの注意をしてくれたら、グチもいいたくありません。こうした交通事故は、運転者だけが気をつ、ていくために...。交通事故の恐ろしさを知るには悲惨な事故の現場と被害者をみたときと思います。でも、それではおそすぎます。私はこの事故で「注意一秒、ケガ一生」という交通標語のもつ意味をいやというほど知りました。(新道町)

とび出す車は

この十日間に市内でおきた交通事故総数は七十七件で、死亡事故一件、負傷事故四十六件、物損事故二十五件となつており、死者一人、負傷者五十二人を出しています。これは昨年にくらべ総数で四件、負傷事故が七件も多くなつています。事故原因別にみても、安全運転義務違反が二十八件でもっとも多く、徐行違反十件、その他に徐行違反十件、停止違反など二十件となつています。なお、吉原、富士両警察署はこの期間中、運転者、歩行者の補

国道に歩道橋二つ 安全都市宣言塔も

くられました。高さが四七、幅一・五メートル、工費は四丁河原が二百八十万円、検町が二百八十三万円で開通は十一月下旬です。交通安全都市宣言塔は、大月線沿いの天間南地先根方街道の浮島一地先、国道一号線の橋下地先と元吉原地先の四カ所に建てられました。塔は正三



交通安全宣言都市